

33期生 理系数学 STAY HOME, STUDY HARD 演習

購入している「基礎からの数学Ⅰ+A」のP. 22~43も解いておこうね！！

[1] [2004 大阪商業大]

$4\sin 30^\circ \cos 45^\circ \tan 60^\circ$ の値を求めよ。

[2] [1997 倉敷芸術科学大]

$(\tan 30^\circ + \tan 60^\circ)^2 - (\tan 30^\circ + \tan 120^\circ)^2$ の値を求めよ。

[3] [2009 中央大]

角 θ が鋭角で、 $\sin \theta = \frac{2}{3}$ であるという。 $\cos \theta$ と $\tan \theta$ の値を求めよ。

[4] [2006 東海大]

$0^\circ \leq \theta \leq 90^\circ$ とする。 $\cos \theta = \frac{\sqrt{3}}{2}$ であるとき、 θ を求めよ。

[5] [2003 北海道工業大]

角 θ が鈍角で $\cos \theta \tan \theta = \frac{1}{2}$ のとき、 θ および $\cos \theta$ の値を求めよ。

[6] [2008 金沢工業大]

$\tan \theta = \frac{\sqrt{7}}{3}$ のとき、 $\cos \theta$, $\sin \theta$ の値を求めよ。ただし、 $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ とする。

[7] [2005 近畿大]

$0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ とする。 $\tan \theta = -\frac{12}{5}$ のとき、 $\sin \theta$, $\cos \theta$ を求めよ。

[8] [2003 同志社女子大]

$0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ のとき、 $2\cos^2 \theta + \cos \theta = 0$ を満たす θ の値を求めよ。

[9] [2005 久留米大]

$0^\circ \leq x \leq 180^\circ$ のとき、関数 $y = \cos^2 x + \sin x - 3$ の最大値、最小値を求めよ。

[10] [2004 大阪電気通信大]

$30^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ のとき、 $y = \cos^2 \theta + \cos \theta + \frac{3}{4}$ は $\theta = \frac{\pi}{6}$ のとき最小値 $\frac{1}{4}$ 、

$\theta = \frac{\pi}{2}$ のとき最大値 $\frac{7}{4}$ をとる。

[11] [2006 京都薬科大]

$\sin \theta + \cos \theta = \frac{1}{2}$ のとき、次の式の値を求めよ。

- | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|
| (1) $\sin \theta \cos \theta$ | (2) $\sin^3 \theta + \cos^3 \theta$ |
| (3) $\sin^4 \theta + \cos^4 \theta$ | (4) $\sin^5 \theta + \cos^5 \theta$ |

[12] [2004 埼玉工業大]

$\sin \theta - \cos \theta = \frac{1}{2}$ であるとき、 $\sin \theta \cos \theta$, $\sin^3 \theta - \cos^3 \theta$ の値を求めよ。

[13] [2006 北海学園大]

$AB=5$, $AC=8$, $\angle BAC=60^\circ$ である三角形 ABC がある。このとき、辺 BC の長さと三角形 ABC の面積 S を求めよ。

[14] [2004 福井工業大]

$\triangle ABC$ において、 $A=45^\circ$, $b=\sqrt{2}$, $c=1+\sqrt{3}$ のとき

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| (1) a の値を求めよ。 | (2) B , C の値を求めよ。 |
|-----------------|-----------------------|

[15] [1999 千葉工業大]

三角形 ABC において、 $BC=7$, $\angle B=105^\circ$, $\angle C=45^\circ$ のとき、AB の長さを求めよ。

[16] [2003 玉川大]

$\triangle ABC$ において、 $AB=3$, $AC=2$, $\angle A=60^\circ$ であるとき、 $BC = \sqrt{\boxed{}}$ で、 $\cos B$

の値は $\frac{1}{\sqrt{\boxed{}}}$ である。

[17] [2004 大阪商業大]

$AB=2\sqrt{3}$, $BC=3$, $\angle ABC=60^\circ$ の平行四辺形 ABCD の面積を求めよ。

[18] [2000 法政大]

$\triangle ABC$ で $A=30^\circ$, $BC=1$ のとき、この外接円の直径を求めよ。

[19] [1999 東北学院大]

3 辺の長さが 6, 10, 14 である $\triangle ABC$ において

- (1) 最大辺の対角の大きさを求めよ。
- (2) $\triangle ABC$ の内接円の半径を求めよ。

[20] [2003 鳥取大]

近くの公園に円形のプールがある。ある日、このプールの広さを測定しようと考え、私は友人は巻尺とチョークを持って出かけた。プールの縁の3カ所にチョークで印を付け、それぞれを A, B, C とした。AB, BC, CA の水平距離を測定すると、それぞれ 9 m, 6 m, 12 m であった。

(1) $\angle ABC$ の正弦、余弦、正接の値を求めよ。

(2) $\triangle ABC$ の面積を求めよ。

(3) このプールの面積を求めよ。

[21] [2015 神戸薬科大]

$\triangle ABC$ の3つの角 A, B, C に対して、 $\sin A : \sin B : \sin C = 3 : 5 : 7$ であるとき、 $\tan A = \sqrt{\boxed{}}$ であり、角 C の大きさをラジアンで求めると $C = \sqrt{\boxed{}}$ である。

[22] [2015 東京理科大]

$AB=2$, $BC=3$, $CD=6$, $DA=5$ である四角形 ABCD があり、この四角形は円 O に内接している。

(1) $\cos \angle B = \sqrt{\boxed{}}$ であり、 $AC = \sqrt{\boxed{}}$ である。

(2) 円 O の半径は $\sqrt{\boxed{}}$ である。

(3) 四角形 ABCD の面積は $\sqrt{\boxed{}}$ である。

(4) 四角形 ABCD は、ある円に外接している。この円の半径は $\sqrt{\boxed{}}$ である。

[23] [2009 首都大学東京]

半径 R の円周上に点 A, B, C, D がこの順で反時計回りに並んでいる。線分 AB, AC, BC, CD の長さはそれぞれ 1 , $\sqrt{5}$, $\sqrt{2}$, 2 である。次の問いに答えよ。

(1) $\cos B$ を求めよ。ここで、B は $\angle ABC$ を表す。

(2) 円の半径 R を求めよ。

(3) $\cos D$ を求めよ。ここで、D は $\angle ADC$ を表す。

(4) 線分 AD の長さを求めよ。

[24] [2007 名城大]

$\triangle ABC$ があり、辺の長さはそれぞれ、 $BC=8$, $AC=5$, $AB=7$ であるとする。このとき、 $\cos \angle ACB = \sqrt{\boxed{}}$ である。また、A から辺 BC に垂線を下ろすときにできる交点を D とすると、線分 AD の長さは $\sqrt{\boxed{}}$ である。

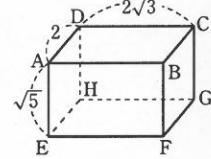
[25] [2013 芝浦工業大]

図のような直方体 ABCD-EFGH がある。

$\angle ACF = \theta$ とすると、 $\cos \theta = \sqrt{\boxed{}}$ であり、 $\triangle AFC$ の

面積は $\sqrt{\boxed{}}$ である。また、点 B から $\triangle AFC$ に垂線 BP

を下ろすとき、BP の長さは $\sqrt{\boxed{}}$ である。



[26] [2009 國學院大]

あるタワーが立っている地点 K と同じ標高の地点 A からタワーの先端の仰角を測ると 30° であった。また、地点 A から $AB=114$ (m) となるところに地点 B があり、

$\angle CAB = 75^\circ$ および $\angle KBA = 60^\circ$ であった。このとき、AK の距離は $\sqrt{\boxed{}}$ m,

タワーの高さは $\sqrt{\boxed{}}$ m である。